



第136号
 平成22年10月25日
 田迎校区公民館
 館長 東 旭
 編集委員
 上田 昭蔵 吉住 久江
 小林省三郎 西 朝徳
 ☎378-5878
 編集責任 吉野元生

ふるさと創世

(住み良い町にくらしの工夫)

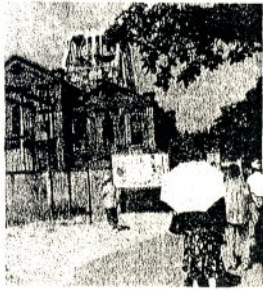
実践項目

校区公民館

- 一、あいさつ運動
- 一、明るい地域づくり
- 一、子供達に夢と誇りを

平和の大切さを知った 歴史探訪

平成二十二年八月十九日
 田迎校区公民館及まちづくり委員会主催による歴史探訪の会が行われた。歴史探訪は万田坑と筑前町立太刀洗平和記念館、二ヶ所の見学会が行われた。当日八時に一・五町内は一里木バス停前、二・三町内はエース前に集合して、バス二台に分乗して出発した。行き先は国指定重要文化財で世界文化遺産国内暫定リストに掲載された万田坑と平和の大切さを語り継ぐ筑前町立太刀洗平和記念館である。



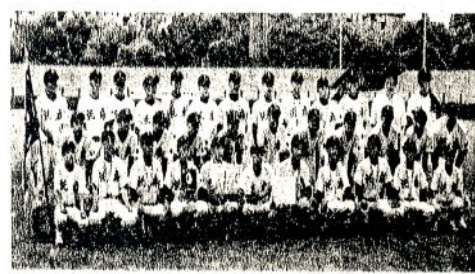
はじめに、万田坑見学会を行う。万田坑は、明治から昭和にかけての約百年間に日本の近代化を牽引した三井三池炭鉱の中で輝かしい足跡を残した「万田坑」である。ボランティア説明者の話を聞いて、当時の鉱員の方々の苦勞を知り、その方々によって今の日本がある事を知る。



引きつづいて、筑前町立太刀洗平和記念館の見学会にむかう。途中で筑前大使館にて中食をとる。その後、平和記念館の見学会をする。かつてこの地は、旧陸軍が東洋一を誇った太刀洗飛行場を中心とする一大軍都が存在し、歴史的な役割を果たしながら大きく発展した。しかし、昭和20年3月に大空襲により壊滅的な被害を受け、民間人を含む多くの尊い命が奪われた。また特攻隊機の中継基地として数多くの若き特攻隊員たちの出撃を見送った場所でもある。記念館内には、戦時中の遺品等が展示してあった。遺書を見たり遺品をみて、涙が出てくる物もあった。万田坑や平和記念館の見学をして平和の大切さを語り継ぐ情報発信基地であると痛感した。

祝 託麻中学校野球部 全国大会出場!

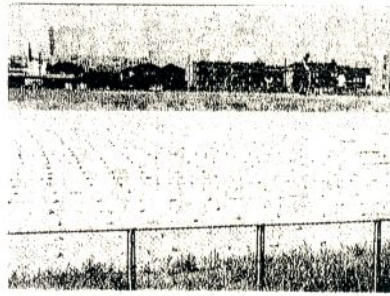
平成二十二年八月十一日、第三十五回九州中学校軟式野球大会が大分市で準決勝決勝が行われた。県代表の託麻中学校は準優勝を果たし、岡山県倉敷スポーツ公園マスカットスタジアムで開かれる全国大会への出場を決めた。



川中は三回表、二四死球とバントヒットで無死満塁のチャンスを作るが、相手投手のふんばりで後続を断た

田迎小学校分離新設校の 造成工事

平成二十四年四月の開校に向けた第一期造成工事が予定どおり終わりました。熊本市の計画では、第二期



の造成工事が九月頃から年度末にかけて実施されます。平成二十二年八月末現在、分離新設校建設現場を見渡しますと、学校用地の北側に校舎その南側に運動場が建設されるといふ姿が目で見ても分かるまでに至りました。運動場は、校舎の建設予定地より一メートルほど低くなっていますが、大雨時に配慮した全天候型に対応する市の設計です。(写真で白く見えるところ)。これまでに至るにあたっては、小雨と猛暑が続いた中での作業は、少しでも土

れ得点ならず。両チームともに試合の流れをつかめないうま中盤を迎える。四回表託麻中は、二死から六番岡崎君がライトオーバーの三塁打で出塁するも無得点。四回裏、上三川中は二死から七番佐藤君がバントヒットで出塁。ポークで二塁へ進んだあと、八番串田君の左中間への三塁打で上三川中がついに一点を先制した。七回表、託麻中の最後の攻撃。無死から五番安藤君がヒットで出塁。送りバントと内野ゴロで二死三塁と攻めるも無得点で試合終了。両チームのエースがともに緩急をつけたピッチングでよく抑え、バックの堅い守備で引き締まった好ゲームになった。(平成二十二年八月十九日倉敷市実行委員会記録広報部速報第四号より)



や砂が舞い上がらないようにと重機または採石等に水を蒔きながらの工夫が見られました。無事に前期の造成工事が終わったことも周囲の地域住民の皆さんと造成工事に携わった方々のご協力、それに熊本市の御指導の賜といえます。(田迎校区自治協議会長 西田 耕造)